

ライフステージに 合わせた地域支援

502-511 **1** 障害児の地域支援—発達障害を中心として
●米山 明

512-519 **2** 発達障害ネットワーク支援の実践例
●塚本千秋

521-526 **3** 重症心身障害児の地域生活支援について
●秋山千枝子

528-532 **4** 発達障害のある学生の支援について
—障害学生支援コーディネーターの立場から
●村田 淳

533-538 **5** 当事者だからできる支援を実践する
●福田美智子

障害のある人や家族に対してはライフステージにわたる一貫した支援が必要です。国では平成26年度から発達障害者支援施策として発達障害情報・支援センターを置き、地域の支援体制の確立を目指しています。本特集では、在宅にいる重症心身障害児の支援、青少年期の発達障害者の支援、大学生活での支援、地域の様々な機関を利用して支援を続けるためのネットワークの構築など、現在行われているさまざまな支援体制やその情報を紹介しました。障害のある人を地域で支えるときの知識の一つとしてぜひ活用していただきたいと考えます。

企画担当 ● 西脇恵子（日本歯科大学附属病院，言語聴覚士）